基本文献研究Ⅰ

科目ナンバリング　JLT-219
選択　　2単位

木村　康平

1. 授業の概要（ねらい）

古事記を読みます。

古事記は和銅5年（712）に成立したと、序文にしるされる、わが国に現存する最古の書物です。上・中・下の3巻からなります。上巻は世界の始まりからカムヤマトイハレビコノミコト（神武天皇）の誕生までの神代を扱います。中巻は神武天皇から応神天皇までの、神と人の中つ代を、下巻は仁徳天皇から推古天皇までの人代を語ります。したがって、「古事（ふること）の記（ふみ）」とは、推古天皇までを古代とする歴史認識のもとに編まれたものです。

古事記は物語としても良く出来ています。古典文学への入門として、まず、そのおもしろさと魅力を知ってほしいと思います。

前期は上巻の神話を読みます。わかりやすく説明します。難しく考えないで、古事記の物語性を楽しみましょう。

また、古事記を読み進める過程で、古典の言葉への理解や、説話文学の歴史についての知識を深めていきます。

2. 授業の到達目標

古事記の神話や説話を読むことを通じて、古代の文学に親しみをもつことができる。
古代の人々のものの考え方や生き方を知ることができる。
古代文学に関する基礎的な知識を理解することができる。
古典の文体の特色や語法、語彙について理解することができる。
以上を到達目標とします。

3. 成績評価の方法および基準

期末試験（50%）と平常点（授業への意欲や参加度・毎回のコメントシート・レポートなど。50%）をあわせて評価します。

4. 教科書・参考文献

教科書
毎回プリントを用意します。テキストは用いません。

参考文献
坂本勝　『はじめての日本神話』　ちくまプリマー新書
西郷信綱　『古事記の世界』　岩波新書

5. 準備学修の内容

・授業で取り上げた箇所について、配付プリントを参照して復習すること。
・配付プリントには毎回「質問」がしるされています。これについて各自調査し、考察を深めること。
・授業時に紹介した参考書などにふれる機会をもつこと。
・自ら疑問をたて、さらに発展的に学習すること。

6. その他履修上の注意事項

出席することが大切です。遅刻をしないこと。また、授業マナーは守りましょう。
毎回、授業の終了時にコメントシートの提出があります。
配付プリントの「質問」について答えてください。
各回の授業内容は、授業の進行状況により、一部変更することがあります。ご了承ください。

7. 授業内容

【第1回】　世界のはじまりをどう語るか―古事記の冒頭の語り方
【第2回】　古事記とは何か（古事記の成立・編者・文体など）①
【第3回】　古事記とは何か（古事記編纂の背景―天武天皇と王朝のはじまり）②
【第4回】　イザナキとイザナミ―兄妹婚と世界の立てなおし
【第5回】　黄泉の国訪問（死者の世界はどのように考えられていたか）
【第6回】　死のけがれを経てうまれ出た、世界を統べる者―アマテラス（天照大神）
【第7回】　理知的な姉アマテラスと乱暴者の弟スサノヲの相剋（文化と自然の対立・秩序と破壊・再創造）
【第8回】　身を隠すアマテラス―天の岩戸神話（太陽の死と再生、神話における再生の論理の意味）
【第9回】　ヤマタノヲロチ退治（自然の神から新しい文化神への交代）
（オンライン授業）
【第10回】　スサノヲの女神殺害（穀物の起源と大地母神）
【第11回】　大国主神と因幡のシロウサギ（呪医としての王―王の資格とは何か）
【第12回】　大国主神の受難と根の国訪問（王は異界の力を身に帯びて統治する）
【第13回】　八千矛神をめぐる愛と嫉妬の歌語り（神々の物語の語り方とは）
【第14回】　出雲神話と大和の関係
【第15回】　大国主神の葦原中国の統治